かけはし

令和５年１０月号
高松市立
男木小・中学校

５月に小学生２名が偶然にも船の中で交流した台湾の馬祖国際芸術島祭プロデューサーの方から依頼があり、アーティストの高橋匡太さんの指導で、本校の子どもたちと台湾の子どもたちのコラボ作品を作りました。雲形の風船を持ってお気に入りの場所を紹介し、作品として、2023馬祖国際芸術島に展示するそうです。また、招待を受けて、生徒と教員が代表として台湾へも訪問しました。

９月１７日のさぬきマルシェへの出店では、保護者の方にもご協力いただきありがとうございました。子どもたちは、店員として張り切って販売したり、島のPRをしたりしていました。おかげさまで、準備していた商品はほぼ完売し、子どもたちも満足した様子でした。

どちらの活動も、今年のスローガンでもあるチャンスを生かし、子どもたちの成長につながるものであったと実感しました。

校長　井村　新一

月中行事(10月)

2日（月）全校集会
4日（水）ものづくり教室
10日（火）諸費集金日
　　学校図書館指導員来校
11日（水）就学時健康診断
12日（木）クラブ活動⑥
16日（月）スクールカウンセラー来校
17日（火）就学時健康診断13:30～
24日（火）学校図書館指導員来校
27日（金）3校リモート交流（豊島2年）
　　ALT来校
30日（月）スクールカウンセラー来校
31日（火）小児生活習慣病予防検診（小4）
　　心電図検査（小4・中2）

1923（大正12）年9月1日に発生し、大きな被害をもたらした関東大震災。

今年はちょうど震災から100年にあたる年です。約10万5000人の死者・行方不明者のうち9万2000人が火災による焼死者だったとされています。なかでも、火災旋風（火災が起きた際に、燃えている所や、そのまわりで発生する激しく回転する渦柱）は狭い範囲で多数の犠牲者を出しました。住宅が密集している男木島でも、もしものことがあれば心配です。そこで、火災旋風から身を守る方法をご紹介します。

① 火災旋風が発生する前に火災から逃げる。
　（空が暗くなり、轟音が聞こえたら前兆）
② 風上に逃げる（風下での発生率が高い。）
③ 身を伏せ、飛んでくるものから頭や首を守る

何より、火災を起こさないように気をつけることが大事です。南海トラフ地震がいつ起こるか分からない今、ご家族やお友だちと避難ルートについて話し合っておくといいかもしれません。

学校生活の出来事

２学期始業式

９月１日(金)、2学期がスタートしました。2学期は文化祭、秋の校外学習、マラソン大会などたくさんの行事があります。

始業式では子どもたちが一人一人の目標を発表し、新しい学期への期待を膨らませていました。

今後も保護者、地域の方とともにより良い学校を作っていきたいと思います。

お昼のラジオに出演（生放送）

９月８日（金）、西日本放送「わらなきラジオ」に出演し、子ども達が出店するさぬきマルシェのお店について、インタビューを受けました。

たくさんの人にさぬきマルシェに来てもらうために、原稿を書いたり、練習したりしました。生放送のラジオ出演は子ども達にとって大変貴重な体験となりました。

職業体験

９月 13 日（水）～15 日（金）、中学２年生の西川さんが県立ミュージアムで職業体験をしました。普段は見ることのできない博物館の裏側を見学したり、職員の方に仕事内容の説明を受けたりしました。

西川さんは博物館の中のコインロッカーの場所や使い方紹介する動画を制作したそうです。

さぬきマルシェ出店

９月 17 日(日)、さぬきマルシェに出店しました。男木島を PR するためのチラシをつくったり、男木島でとれたレモングラスのハーブティー売ったりすることで、男木の魅力をたくさんのお客さんに伝えました。

一日中お店で働いて、足がパンパンになった人もいましたが、とても充実したさぬきマルシェとなりました。